

市事議第92号  
平成23年9月20日

京都市会議長 井上与一郎 様

市会改革推進委員会  
委員長 田中 英之

### 市会改革推進委員会報告書

この度、市会改革推進委員会では、下記の項目について、別添のとおり検討結果を取りまとめましたので、御報告いたします。

#### 記

- 1 傍聴者に対する質問要旨の配布
- 2 出席者が和服を着用する「きもの議会」の開催

平成 23 年 9 月  
市会改革推進委員会

## 市会改革推進委員会における協議結果について

平成 23 年 9 月 16 日（第 5 回）の委員会において、開かれた市会（市民に身近な市会）の観点から検討する個別項目についての協議を行った結果、以下のようにまとまった。

### 1 傍聴者に対する質問要旨の配布

#### 【検討趣旨】

傍聴者にも代表質問項目あるいは要旨を配布するのかどうかを検討する。

#### 【委員の主な意見】

- ・ 傍聴者に、何が質問されているか分かるように、質問の内容が記載された資料を配布すべきである。
- ・ 可能であれば、平成 23 年 9 月市会から実施すべきである。
- ・ 質問要旨を配付するのであれば、どの程度のものとするかなど更に議論する必要がある。したがって、9 月市会から配布する資料は項目に限るべきである。
- ・ 配布する資料は、事務局ではなく議員又は会派が作成すべきである。
- ・ 傍聴者に配布する資料は、議員にも配布してほしい。

#### 【委員会での結論】

平成 23 年 9 月市会から、本会議の傍聴者に代表質問の項目を配布することが適当である。具体的な実施内容については、議運での協議に委ねる。

なお、配布する資料に要旨を記載するかどうかについては、本委員会において引き続き検討する。

## 2 出席者が和服を着用する「きもの議会」の開催

### 【検討趣旨】

市会として「京都らしさ」を一層打ち出す取組の一環として、本会議の出席者が統一して和服を着用する「きもの議会」を実施するかどうか検討する。

### 【委員の主な意見】

- ・ きもの着用については、議員個人の自覚に委ねられるべきではないか。
- ・ 全員で着ようということではなく、着たい人が着ることによいのではないか。
- ・ 「京都らしさ」の魅力を発信する議会という意味では、きもの限定して検討をするのはいかがなものか。
- ・ 話題づくりとも言えるきもの議会の実施では、真の和装振興とはならない。
- ・ 着る機会を作ってきものを着てみることは和装振興の一步であり、是非、自らの意思で着てほしいと思っているが、市会改革の取組としての議論になじまないのではないか。

### 【委員会での結論】

きもの議会に関しては、市会改革の取組としての検討を終了する。